

概 説

第 一 土 地

**位 置** 本縣ハ畿内ノ東南部ニ位シ大和全國十郡一市ヲ管轄ス東ハ三重縣ニ境シ西ハ大阪府ニ隣リ南ハ和歌山縣ニ境シ北ハ京都府ニ接ス東經百三十五度三十三分ヨリ起リ百三十六度十二分ニ至リ北緯三十三度五十二分ヨリ三十四度四十七分ニ至ル

**地 勢** 南北ニ長ク東西ニ狭ク山岳四面ヲ圍繞シテ北方僅ニ開通ス東ハ三國山、高見山、大臺ヶ原山、備後山等ノ群峰ヲ隔テ、伊賀、伊勢、紀伊ニ境シ南ハ峻嶺相重リテ紀伊ノ諸嶮嶽ト交叉シ西ハ金剛、葛城、信貴、生駒ノ連山起伏シテ河内ノ國界ヲ畫ス

**山嶽及河川** 山嶽ノ大ナルモノハ七面山、佛經岳、彌山、釋迦ヶ岳、大臺ヶ原山、國見岳等ニシテ何レモ南方ニ巍峨屹立ス、河川ハ飛鳥、富雄、龍田、葛城其ノ他數多ノ小川合流シテ大和川トナリ西流シテ河内、和泉ノ兩國ヲ經テ海ニ入ル宇陀川ハ宇陀郡ニ發シ伊賀國ヲ經テ名張川ト爲リ再ヒ迤ニ北部ヲ匯リテ山城國ニ赴ク、吉野川ハ源ヲ大臺ヶ原山ニ發シ中央ヲ串流シテ紀ノ川トナリ海ニ至ル又十津川、北山川ハ共ニ吉野郡ノ山間ニ發シ紀伊國ヲ過キテ南海ニ注ク、河流概テ急湍ニシテ吉野川ヲ除ク外舟楫ノ利ヲ缺キ時ニ汎濫ノ憂アリト雖モ吉野川、十津川、北山川ハ何レモ流筏ノ便アリテ木材輸出上利便少ナカラス

**面 積** 本縣ハ東西十六里十二町、南北二十六里一町、面積二百五十六方里餘ニ亘リ畿内五國中最大ナルモノナリトス而シテ其ノ九割三分二厘ハ民有有租地ニシテ免租地及年期地ハ一分六厘ニ相當シ爾餘ノ五分二厘ハ官有地ナリトス更ニ之レヲ郡市別ニ觀察スルトキハ郡ノ最大ナルモノハ吉野郡ニシテ其ノ面積實ニ本縣ノ六分三厘強(百六十三方里五〇)ヲ占メ其ノ他宇陀、山邊、生駒、添上、磯城等ノ各郡順次之レニ亞キ奈良市ノ一方里六一ヲ最小トス

**地 質** 本縣ノ地質ハ錯雜混入スレトモ之レヲ分類スレハ南半ハ大部分古生層ニシテ中生層ハ其ノ南端ノ一部ヲ占メ北半ハ火成岩ヨリ成ル、地質ニハ花崗岩、安山岩アリ水成岩層中ニハ片麻岩、第三紀、第四紀層アレトモ第四紀層ハ概テ農耕地トナリ森林地ハ片麻岩層ノ地多ク之レニ次テハ第

三紀層ナリトス其ノ他ノ地層ハ是等ノ間ニ介在シテ小面積ノ地ヲ占ムル  
ノミ

**交 通** 道路、國道ハ京街道ニシテ奈良ニ起リ北方山城國ニ通ス縣道ハ  
二十八線路、延長百五十四里餘アリテ其ノ中著名ナルモノ三條アリ上街道、  
中街道、奈良街道トス何レモ奈良ヨリ起リ南方ニ至ル其ノ他下街道、初瀬街  
道、下市街道、伊勢街道、月瀬街道、伊勢本街道、東熊野街道、笠置街道等ノ諸線路  
アリ之レニ加フルニ著名里道ハ其ノ數八十六延長二百五十七里餘ニ及ヒ  
其ノ他里道ノ延長千六百七十三里ニ達ス鐵道ハ大阪ヨリ河内ニ通シ王寺  
ニ至リテ分岐シ一ハ奈良ヲ經テ名古屋市ニ至リ一ハ高田、櫻井、奈良ヲ經テ  
京都市ニ達ス又一ハ高田ヨリ五條ヲ經テ和歌山市ニ通シ其ノ他吉野輕便  
鐵道ハ南葛城郡ノ吉野口ニ起リ吉野郡ノ吉野ニ至リ長谷輕便鐵道ハ櫻井  
ヨリ起リ初瀬ニ通シ天理輕便鐵道ハ丹波市ヨリ法隆寺ニ通シ又大阪電氣  
軌道ハ大阪市ヲ起點トシ河内國ヲ通シ生駒山ヲ貫通シテ奈良市ニ達スル  
等物貨ノ運輸交通ノ便略ホ備ハレリ

**著名ノ都邑** 本縣ニ於ケル市街地トシテ最モ著名ナルハ奈良市(縣廳所在地)  
ニシテ人烟稠密縣下第一ノ都會タリ奈良ハ本邦最古ノ帝都トシテ又有名  
ナル奈良公園、春日山ノ所在地トシテ夙ニ人口ニ膾炙シ土地亦閑雅ニシテ  
名所舊蹟ニ富ミ殊ニ京阪ノ中樞ニ當レルヲ以テ益々隆盛ヲ見ルニ至レリ  
其ノ他千戶以上ノ市街地トシテハ郡山、高田、丹波市、下市、五條、御所、櫻井、榛原、  
樺本ノ各地ニシテ順次之レニ亞キ千戶以下ニ在リテハ八木、龍田、今井、初瀬、  
高取、三輪、田原本、上市、松山等ナリトス

**民業及物産** 民業ハ農耕業ヲ主トシ山地ニ在ルモノハ林業ヲ兼テ又市街地  
ニ在ルモノハ專ラ商工業ニ從事シ及養蠶製茶ヲ業トスルモノ尠カラス物  
産ノ重ナルモノハ米、麥、紡績、織物、酒類、賣藥、木材、繭(以上産出價額百萬圓以上)  
莫大小、繭糸類、製茶、鈕釦、製革(同上五拾萬圓以上)薪炭材、凍豆腐、筆墨類、履物類、  
醬油(同上參拾萬圓以上)等ニシテ其ノ生産總額實ニ四千六百參拾貳萬六百  
八拾八圓(一戶當四百參拾七圓)ヲ算ス今之ヲ前年ニ對比スルニ總額ニ於テ  
六百五拾八萬百九拾九圓、一戶當ニ於テ五拾五圓ヲ増加セリ是レ主トシテ  
物價ノ昇騰ニ依ル結果ニシテ其ノ他素麵、葛粉、奈良漬、漆器類、香魚、錦魚等ハ  
産額多カラスト雖モ著名ナルモノナリ

人 □ 大正五年十二月末現在ニ於ケル現住人口ハ男三十萬八千八百十九人、女三十萬四千七百八十五人、計六十一萬三千六百四人ニシテ本籍人口六十五萬一千八百六十三人ニ比シ三萬八千二百五十九人少シ其ハ近時人口ノ都會ニ集注スルモノ多キヲ加ヘタル爲メニシテ就中大阪、京都、東京、兵庫、三重等ノ各地ヘ移住スルモノ最モ多シ、今現住人口ヲ全面積二百五十六方里三分ニ割當ツルトキハ平均一方里二千三百九十五人ニシテ更ニ之レヲ各郡市ニ分チ掲載スレハ次表ノ如シ

平均一方里現住人口郡市比較

郡	市	面積 方里	現 住 人 口			面積一方里ニ 付現住人口
			男	女	計	
添	上	10.84	21,676	21,669	43,345	3,999
生	駒	12.18	36,583	36,868	73,451	6,030
山	邊	12.66	20,658	20,557	41,215	3,256
磯	城	10.64	40,181	39,688	79,869	7,506
宇	陀	21.33	21,692	21,075	42,767	2,005
高	市	5.76	24,940	24,520	49,460	8,587
北	葛	6.47	35,009	35,806	70,815	10,945
南		城	5.33	17,120	16,843	33,963
宇	智	5.98	14,034	14,065	28,099	4,699
吉	野	163.50	54,695	51,975	106,670	625
奈	良	1.61	22,231	21,719	43,950	27,298
總	計	256.30	308,819	304,785	613,604	2,395

本表ニヨリテ之レヲ觀ルニ平均一方里ノ人口トシテ最密ナルハ奈良市ノ二萬七千二百九十八人ニシテ北葛城、高市、磯城、南葛城、生駒、宇智、添上、山邊ノ各郡順次之レニ亞キ最疎ナルハ吉野ノ六百五十二人、宇陀ノ二千五人ナリトス之レヲ要スルニ本縣ニ於ケル人口ノ分布ハ西北部ノ平垣ニ於テ稠密ニシテ東南部殊ニ南方山間ニ進ムニ從ヒ漸次稀薄トナルモノトス蓋シ本縣ハ奈良市ノ如キ市街地ヲ除クノ外ハ農耕業ヲ以テ生業トスルモノ多キカ故ニ吉野、宇陀ノ郊キ山地ヨリモ比較的耕作ニ利便ナル北葛城、高市、磯城ノ諸郡ニ集合スルモノナルヘシ

戸 數 大正五年十二月末現在戸數ハ十萬五千七百八十八ニシテ一戸ノ平均人口ハ五人八分ニ相當シ全國ノ五人六三(大正二年末現在)ナルニ比シ稍、多數ナリ今之レヲ前年末ニ比較スレハ百二十戸ノ減少ニシテ更ニ之レヲ五年前(明治四十四年末現在)ニ比較スレハ一萬百九十三戸ノ増加ナリ

トス前年ニ比シ比較的多數ノ増加ヲ示セルハ主トシテ綿密ナル調査ヲ行ヒタル爲ニシテ何等特殊ノ事項アルヲ認メス

### 第 三 教 育

學齡兒童 大正五年度末ニ於ケル學齡兒童ノ總數ハ男五萬四千五百七十六人、女五萬一千六百十六人、計十萬六千一百九十二人ニシテ前年度ニ比シ男六百三十三人、女六百四十七人、計一千二百八十人ヲ増加セリ而シテ既ニ就學ノ始期ニ達シタル兒童百人中就學歩合ハ男九十九人五分三厘、女九十九人四分、平均九十九人四分七厘ニシテ前年度ニ比シ平均ニ於テ四厘ヲ減少セリ、學齡兒童中不就學ハ男二百二十人、女二百六十五人、計四百八十五人ニシテ前年度ニ比シ四十三人ヲ増加セリ、要スルニ兒童ノ就學並ニ出席ニ關シテハ從來發布シタル縣令、訓令、其ノ他ノ法規ニ依リ督勵ヲ怠ラズト雖モ未タ全ク良好ノ域ニ達セサルノ感アルハ遺憾トスル所ナリトス、今最近十ヶ年間ノ就學始期既達者百中ノ就學歩合ヲ擧クレハ次ノ如シ

就學始期既達者百中就學歩合

年 次	男	女	平 均	指 數
明 治 四 十 年 度	99.58	99.52	99.55	100.00
全 四 十 一 年 度	99.64	99.61	99.63	100.08
全 四 十 二 年 度	99.65	99.72	99.65	100.10
全 四 十 三 年 度	99.68	99.55	99.62	100.07
全 四 十 四 年 度	99.73	99.62	99.67	100.12
大 正 元 年 度	99.57	99.50	99.54	100.00
全 二 年 度	99.62	99.44	99.55	100.00
全 三 年 度	99.59	99.54	99.57	100.02
全 四 年 度	99.53	99.48	99.51	99.95
全 五 年 度	99.53	99.40	99.47	99.92

小 學 校 大正五年度末ニ於ケル市町村立小學校數ハ尋常小學校二百二校、尋常高等小學校百十六校、高等小學校十五校、計三百三十三校ニシテ尋常小學校ニ於テ五校、尋常高等小學校ニ於テ三校、高等小學校ニ於テ二校、總數ニテ十校ヲ減少シタリ是レ主トシテ從來獎勵シ來レル教育ノ統一ト町村經濟整理ノ爲メ學校ノ併合ヲ行ヒタル等ノタメナルヘシ、學級數ハ尋常千四百八十五、高等二百二十八、總計千七百十三ニシテ前年度ニ比シ三十一ヲ増加セリ、教員數ハ本科正教員男千百四十九人、女二百八十二人、計千四百三十一人、專科正教員男十三人、女六十三人、計七十六人、准教員男六十二人、女十

三人計七十五人、代用教員男百四十四人、女二百二十三人、計三百六十七人、總數千九百四十九人ニシテ前年度ニ比シ二十六人ヲ増加セリ

小學校兒童ハ尋常科男四萬百六十二人、女三萬七千九百五十八人、計七萬八千二百二十人、高等科男五千五百八十四人、女三千二百四十八人、計八千八百三十二人、總數八萬六千九百五十二人ニシテ現住人口百人ニ付兒童數十四人一分七厘トス

諸 學 校 本縣ニ於ケル小學校ヲ除ク學校ハ總計三百四十四校ニシテ其ノ學校別明細ハ次ノ如シ

各種學校教員生徒卒業者

種 別	校 數	教 員	生 徒	卒 業 者
縣立師範學校	2	28	417	105
縣立中學校	3	64	1,524	229
縣立高等女學校	1	23	362	80
縣立實業學校	2	25	257	76
市町村立實科高等女學校	2	19	529	154
乙種程度實業學校	12	89	2,335	586
市町村立實業補習學校	266	143	12,009	2,524
其他ノ各種學校	56	77	2,735	880

本表中 教員數ニハ兼務者、生徒以下ニハ別科並ニ豫科ヲ包含セス

本縣ニ於ケル師範學校生徒ヲ人口ニ比例スルトキハ現住人口一萬人ニ付五人八分二厘、中學校生徒ニテハ同上二十四人八分四厘、高等女學校ニテハ同上五人八分九厘、實業學校ニテハ同上四人二分ニシテ要スルニ中等學校程度ノ生徒トシテ人口一萬人ニ對シ四十人七分五厘ヲ示セリ以テ中等教育ノ漸次進歩セル狀況ノ一斑ヲ知ルニ足ルヘシ

公 學 費 大正五年度中教育事業施設經營ノ爲メ要シタル經費總額ハ百拾參萬八千八百拾圓ニシテ之ヲ區別スレハ縣公學費貳拾萬四千四百拾五圓、郡公學費四萬參千四拾壹圓、市町村公學費八拾九萬壹千參百五拾四圓ナリトス而シテ地方費ニ對スル割合ヲ見ルニ縣公學費ハ縣費總額ノ一割七分九厘、郡公學費ハ郡費總額ノ三分八厘、市町村公學費ハ市町村費總額ノ七割三分一厘ニシテ如何ニ教育ノ普及ニ多大ノ力ヲ致セルカヲ知ルヘシ

本縣ニ於ケル神社ハ官幣社十縣社六郷社三十七村社千五十八、無格社四百二十二、招魂社一、計千五百三十四社ニシテ寺院ハ真宗六百四十一、真言宗三百七十、淨土宗三百五十七、融通念佛宗百九十八、曹洞宗七十八、其ノ他百七十五、計千八百十九ナリ之レヲ前年ニ比スルニ神社ニ於テ三十三ヲ減シタルモ寺院ニ於テハ七ヲ増加シタルノミ今之レカ累年比較ヲナスニ寺院ノ數ハ毎年別ニ差異ナキモ神社數ハ漸次減少ノ趨勢ヲ呈セリ之レ近來敬神思想ヲ養フカ爲メ其由緒又ハ維持ノ不完全ナルモノハ廢合ノ方針ヲ執リ之レヲ實行シタルニ由ル其ノ比較表次ノ如シ

神社及寺院數累年比較

年 次	社 社			寺 院		
	總 數	一市町村ニ付神社數	一神社ニ付戸數	總 數	一市町村ニ付寺院數	一寺院ニ付戸數
大 正 五 年	1,534	9.96	68.96	1,819	11.81	58.16
全 四 年	1,567	10.11	67.59	1,812	11.69	58.45
全 三 年	1,582	10.21	65.84	1,811	11.68	57.51
全 二 年	1,616	10.49	62.29	1,810	11.75	54.07
全 元 年	1,619	10.51	60.45	1,810	11.75	54.07
明治四十四年	1,635	10.69	58.46	1,809	11.82	52.84
全 四 十 三 年	1,679	10.91	56.03	1,809	11.82	52.84
全 四 十 二 年	1,743	11.39	53.55	1,809	11.82	51.61
全 四 十 一 年	1,801	11.83	51.29	1,809	11.82	51.32
全 四 十 年	1,841	12.03	50.53	1,810	11.83	51.39

又社寺ノ建造物及ヒ寶物ニシテ古社寺保存法ニ依リ特別保護建造物及國寶ニ指定セラレタルモノ他府縣ニ比シ比較的多數ヲ占メ殊ニ當代美術ノ代表的作物モ亦尠ナカラス何レモ年々國費ノ補助ヲ受ケ修理セラレツ、アリ

### 第 五 慈 惠 及 褒 賞

慈惠救濟資金 本縣ニ於ケル慈惠救濟資金ハ大正五年度ニ於テハ拾貳萬四千百九拾七圓ニシテ之レニ對スル歲入ハ七千八百八拾八圓歲出ハ七千貳百九拾六圓ナリトス而シテ之レカ經費ハ主トシテ部落改善費、代用感化院費、育兒院及養老院補助ニ充當セルモノナリ

慈善的團體 ハ總數五ニシテ内代用感化事業ニ屬スルモノ一、育兒事業ヲ目的トスルモノ三、養老兼育兒事業ヲ目的トスルモノ一ナリ何レモ當事者ノ熱心ニ依リ經營ノ步ヲ進メツ、アルモ未タ其ノ成績トシテ特記スヘキモ

ノナシ

日本赤十字社及愛國婦人會ノ事業ハ本縣ニ於テハ各支部ニ依リテ經營セラル即チ日本赤十字社奈良支部并ニ愛國婦人會奈良支部ハ共ニ奈良市登大路町ニアリテ縣下十郡一市ヲ管轄ス大正五年末ニ於ケル赤十字社員總數二萬二百十九人ニシテ前年ニ比シ百四人ヲ増加シタリ又愛國婦人會員ハ九千六百五十八人ニシテ前年ニ比シ二十六人ヲ増加セリ

褒賞人員 本年ニ於ケル褒賞人員ハ總數一千百七十六人ニシテ内木杯ヲ賜ヒシモノ二百三十二人、褒狀及褒詞ヲ賜ヒシモノ九百四十四人ナリトス今之レヲ種類別ニスレハ悉ク金穀財産等ヲ寄附セシモノ一千百七十六人ニシテ前年ニ比スレハ八百七十三人ヲ増加シ五年前(明治四十四年)ニ比スレハ五百八十二人ヲ減少セリ

## 第 六 警 察

警察官署 本縣ノ警察官署ハ警察部ヲ除クノ外警察署十一、警察分署七、巡査派出所十八、巡査駐在所百八十九ナリトス大正五年末ニ於ケル職員ノ數ハ警察部長一人、技師警視各二人、警部二十四人、警部補十三人、技手四人、巡査三百九十七人、其他四十三人、計四百八十六人ニシテ巡査一人ニ對スル戸數二百七十五、人口千四百三十四ノ割合ナリ

檢舉犯罪事件 ハ現行犯準現行犯人員ニ於テハ前年ニ比シ六百五十四ノ減少ヲ示セルモ其ノ他ハ一般ニ増加セリ即チ非現行犯人員前年二千八百九十二ニ對シ本年三千五百四十四、自首件數七ナリシモ二十九ニ増加シ其ノ犯罪件數モ亦檢舉數ニ伴ヘルカ如ク要スルニ近時犯罪數ノ増加セルハ人口ノ増加ニ伴ヒ不逞ノ徒ノ簇出スルニ至リシモノ其ノ原因ナルヘシト雖モ亦警備機關ノ漸次周到ナルニ從ヒ犯罪ヲ容易ニ認知スルニ至リシ等ノタメ減少セシモノナルヘシ

消 防 組 ハ前年末八十七ナリシカ本年ハ百二十三ニ増加セリ之レヲ五年前(明治四十四年)ニ比スレハ五十九十年前(明治四十年)ニ比スレハ九十二ヲ増加セルノ狀況ナリ是レ火災警防上必要ノ事ナルヲ以テ常ニ勸誘獎勵ヲ怠ラサル所ニシテ尙ホ組織ノ完全ナルモノニ對シテハ土地ノ發展ニ伴ヒ漸チ以テ内容ノ改善設備ノ完成ヲ圖ル見込ナリ

## 第 七 裁 判 及 登 記

民事訴訟件數 大正五年ニ於ケル民事第一審訴訟件數ノ總數二千二十九ニシテ内判決ニヨルモノ五百四十、取下其他ノモノ一千百八十六未決ノモノ二百十ナリトス今結果事件一千八百十九ニ對スル種類別ヲ舉クレハ金錢九百二十五、雜事七百十八、人事四十三、建物四十三、物品三十八、米穀四十八、土地十二、証券二ニシテ既往數年間ノ事實ニ對照スルニ毎年其ノ數ヲ増加シツ、アルノ狀況ナリ

不動産登記 本年中奈良地方裁判所管内ニ於ケル不動産登記件數ハ總數四萬八千四百四十三、箇數二十萬六千五百五十五、登録稅貳拾萬貳千百參拾七圓ニシテ五年前(明治四十四年)ニ比スレハ件數ニ於テ二萬七千三百七十七、箇數ニ於テ一萬二千二百五十五、登録稅ニ於テ參萬五千四百八拾七圓ヲ増加シ又十年前(明治四十年)ニ比スレハ件數ニ於テ二千二十七、箇數ニ於テ一萬九千三百二、登録稅ニ於テ九萬貳千四百貳拾四圓ヲ増加セリ今累年比較ヲ舉クレハ次ノ如シ

不動産登記件數及登録稅比較

年次	件數	箇數	登録稅	指數
明治四十年	46,416	187,253	109,713	100
全四十年	42,566	164,761	108,283	99
全四十二年	47,481	180,142	128,092	117
全四十三年	48,892	181,977	148,272	135
全四十四年	51,066	194,300	180,852	165
大正元年	53,289	193,978	208,584	190
全二年	50,326	188,242	201,536	184
全三年	48,748	180,220	185,891	169
全四年	46,780	180,872	183,756	167
全五年	48,443	206,555	202,137	184

## 第八 衛 生

醫療機關 トシテハ醫師三百五十、齒科醫三十四、計三百八十四人ニシテ現住人口一千八百八十五人ニ對シ醫師一人ノ割合ナリ又産婆ハ四百三人、鍼灸術者二百五十四人、藥劑師二十七人等ナリトス産婆一人ニ對スル生産數五十五人九分三厘、死産數四人三分五厘ノ割合ニシテ之レヲ郡市ニ比較スレハ醫師ノ數人口ニ比シ割合ニ多キハ奈良市ニシテ最モ少ナキハ磯城郡ナリトス又産婆ノ數生産數ニ比シ最多ナルハ奈良市ニシテ最少ナルハ吉野郡ナリトス



**各種傳染病** 本年ノ各種傳染病ハ之ヲ前年ニ比スレハ總數ニ於テ一人ノ増加ヲ見タルノミ即チ虎列刺ニ於テ前年零ナリシカ本年ハ百十八ニ達シタルト〔パラチプス〕カ前年百五十人ナリシニ本年百十二人ニ減シタルカ如キ是レナリ要スルニ近年傳染病ノ甚シキ流行ヲ見サルハ當局者カ常ニ種痘ノ普及ヲ期スルト共ニ病原ノ撲滅ト清潔法其ノ他豫防法ノ實施ニ努メタル結果ニ基因スルハ勿論ナリト雖モ亦以テ公衆衛生ニ對スル縣民ノ思想カ漸次向上シツ、アルヲ證スルニ足ルヘシ

**病死者ノ數** 本年中本縣管内ニ於ケル病死者ノ總數ハ一萬二千三百八十人ニシテ人口千人ニ付二十人一分八厘ノ割合ナリトス之レヲ病類別ニ區別スルトキハ最多ナルハ消化器ノ疾患ニシテ二千三百二十四人ナルヲ示シ之レニ次クモノハ傳染性及全身病ノ二千百十六人、呼吸器ノ疾患一千八百八十三人、神經系ノ疾患一千六百九十八人、畸形及幼年ノモノ一千二百八十四人更ニ一千人以下ニ在リテハ老年七百七十七人、血行器ノ疾患五百八十七人、泌尿及生殖器ノ疾患五百三十五人、不明ノ診斷及不詳ノ原因ニ依ルモノ四百四十一人、外因ニ依ルモノ三百二十八人其ノ他二百四十七人ニシテ最小ナルハ皮膚及運動器ノ疾患九十人、妊娠及産ニ依ルモノ七十人ナリトス今現住人口千ニ對スル死亡者並ニ死亡者百人ニ對スル病類別比例ヲ舉ケレハ次ノ如シ

現住人口千人中死亡人員

病 類	大正	大正	大正	病 類	大正	大正	明治四	明治四	明治四	明治四	明 治
	五年	四年	三年		二年	元年	十四年	十三年	十二年	十一年	四十年
傳染性病及全身病	3.45	3.26	3.22	傳染性病	0.56	0.43	0.66	0.61	0.54	0.87	0.63
神經系ノ疾患	2.77	2.68	3.06	發育及營養的病	3.17	3.20	3.26	3.40	3.37	3.23	3.31
血行器ノ疾患	0.96	0.89	1.03	皮膚及筋病	0.49	4.43	0.52	0.50	0.41	0.48	0.51
呼吸器ノ疾患	3.07	2.80	2.67	骨及關節病	0.32	0.28	0.29	0.31	0.40	0.40	0.32
消化器ノ疾患	3.79	3.64	4.09	血行器病	1.39	1.42	1.41	1.41	1.54	1.44	1.48
泌尿及生殖器	0.97	0.73	0.95	神經系及五官病	3.01	2.98	2.88	2.95	3.20	3.39	3.42
妊娠及産	0.11	0.10	0.17	呼吸器病	3.79	3.72	3.94	3.75	3.68	4.19	4.11
皮膚及運動器ノ疾患	0.15	0.15	0.20	消化器病	4.95	5.13	5.41	5.54	5.90	5.90	5.46
畸形及幼年	2.09	1.93	1.76	泌尿及生殖器病	0.78	0.90	0.92	0.80	0.96	1.04	0.98
老年	1.17	1.05	1.02	外襲性變死	0.61	0.56	0.50	0.69	0.51	0.45	0.49
外因ニ依ル死	0.54	0.52	0.59	中毒症	0.05	0.07	0.08	0.09	0.06	0.05	0.05
不明ノ診斷及不詳ノ原因	0.72	0.86	0.69	原因不詳	0.23	0.27	0.35	0.34	0.31	0.31	0.24
其他	0.40	0.39	0.42	.....	—	—	—	—	—	—	—

現住人口千人中死亡人員

(續)

病 類	大正五年	大正四年	大正三年	病 類	大正二年	大正元年	明治四十四年	明治四十三年	明治四十二年	明治四十一年	明治四十年
總 計	20.18	18.20	19.88	總 計	19.36	19.39	20.22	20.39	20.88	21.75	21.00
呼吸器病ノ内肺結核	0.90	0.82	0.86	呼吸器病ノ内肺病	1.50	1.19	1.38	1.47	1.44	1.58	1.57

死亡者百人中病類別比例

病 類	大正五年	大正四年	大正三年	病 類	大正二年	大正元年	明治四十四年	明治四十三年	明治四十二年	明治四十一年	明治四十年
傳染性病及全身病	17.09	17.22	16.21	傳染性病	2.88	2.21	3.20	2.99	2.96	4.01	2.99
神經系ノ疾患	13.72	14.43	15.40	發育及營養的病	16.36	16.50	16.13	16.82	16.08	14.83	15.76
血行器ノ疾患	4.75	4.70	5.18	皮膚及筋病	2.53	2.23	2.59	2.50	1.94	2.19	2.43
呼吸器ノ疾患	15.21	14.72	13.44	骨及關節病	1.66	1.44	1.44	1.49	1.89	1.83	1.54
消化器ノ疾患	18.77	19.13	20.56	血行器病	7.18	7.33	6.97	7.00	7.36	6.63	7.03
泌尿及生殖器	4.32	3.85	4.75	神經系及五官病	15.46	15.37	14.69	14.56	15.26	15.58	16.28
妊娠及産	0.57	0.49	0.87	呼吸器病	19.59	19.19	19.47	18.49	17.58	19.27	19.58
皮膚及運動器ノ疾患	0.40	0.81	1.01	消化器病	25.59	26.44	26.74	27.28	28.14	27.12	26.00
畸形及幼年	10.47	10.13	8.85	泌尿及生殖器病	4.05	4.64	4.57	4.12	4.58	4.79	4.65
老年	5.79	5.53	5.13	外襲性變死	3.14	2.88	2.47	2.59	2.44	2.07	2.35
外因ニ依ル死	2.65	2.75	2.97	中毒症	0.26	0.38	0.39	0.47	0.29	0.25	0.25
不明ノ診斷及不詳ノ原因	3.56	4.50	3.46	原因不詳	1.17	1.39	1.34	1.70	1.48	1.43	1.14
其他	2.00	2.07	2.13	.....	—	—	—	—	—	—	—
總 計	100.00	100.00	100.00	總 計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
呼吸器病ノ内肺結核	4.45	4.27	4.31	呼吸器病ノ内肺病	7.73	6.13	6.85	7.23	6.89	7.28	7.47

第九 財 政

經 費 大正五年度ニ屬スル國庫支出ノ縣經費總額ハ拾九萬四千參百七拾貳圓ニシテ内經常部拾六萬壹千七百八拾五圓、臨時部壹萬貳千五百八拾七圓ナリトス之レヲ前年度ニ對照スルニ經常部ニ於テ四千四百八拾七圓ヲ増加シ、臨時部ニ於テ壹萬八千六百四拾一圓ヲ減少セリ是レ地方費緊縮ノ結果ニ依ルモノナリ

大正五年度所屬本縣費歲入總計決算額ハ百拾四萬八千貳拾八圓、歲出ハ九拾萬四千參百七拾七圓ニシテ之レヲ前年度ト對比スルニ歲入ニ於テハ五萬九千八百九拾五圓ヲ増加シ、歲出ニ於テ參百貳拾四圓ヲ増加シ、差引總額ニ於テ六萬貳百拾九圓ヲ増加セリ今之レヲ經常、臨時ノ各部ニ分チ既往十ヶ年間ヲ比較對照スレハ次ノ如シ

縣 歲 入 出 累 年 比 較

年 次	歲 入				歲 出			
	經 常	臨 時	計	指 數	經 常	臨 時	計	指 數
明治四十年 度	677,690	94,991	772,681	100	423,124	183,991	607,115	100
全 四十一 年度	787,990	374,193	862,183	112	685,597	288,546	974,143	160
全 四十二 年度	766,663	208,920	975,592	126	453,141	292,144	745,285	121
全 四十三 年度	796,088	256,502	1,052,590	136	514,082	322,856	836,932	138
全 四十四 年度	1,021,005	235,172	1,256,177	163	678,035	339,831	1,017,866	168
大 正 元 年 度	992,460	260,218	1,252,678	162	682,457	367,388	1,049,845	173
全 二 年 度	943,584	261,965	1,205,549	156	662,204	313,309	975,513	161
全 三 年 度	840,347	260,848	1,101,195	143	636,774	325,437	962,211	159
全 四 年 度	923,197	165,036	1,088,233	141	709,377	255,076	964,453	160
全 五 年 度	1,005,632	142,495	1,148,128	149	722,382	181,995	904,377	149

本表中ニハ特別經濟ニ屬スルモノハ包含セス

大正五年度ニ屬スル郡經費決算并ニ全四年度市町村經費決算額ヲ比較スルニ

郡 { 歲入拾壹萬五千八百五拾壹圓  
 歲出拾萬參千八百六拾貳圓 } 市町村 { 歲入貳百壹萬貳千六百七拾七圓  
 歲出百八拾萬四千貳拾九圓 }

ニシテ之レヲ前年度ニ對比スルトキハ郡ノ歲入ニ於テ六千五百拾六圓、同歲出ニ於テ貳千八百拾五圓、市町村ノ歲入ニ於テ五萬壹千九百四拾七圓、同歲出ニ於テ六萬八千參百六拾壹圓ノ減少ヲ來セリ是レ何レモ地方費緊縮ノ結果ニシテ今之レヲ既往十ヶ年間ニ對照スレハ次ノ如シ

郡 市 町 村 歲 入 歲 出 累 年 比 較

年 次	歲 入				歲 出			
	郡	指 數	市 町 村	指 數	郡	指 數	市 町 村	指 數
明治四十年 度	91,975	100	1,548,220	100	86,037	100	1,342,641	100
全 四十一 年度	100,776	100	1,989,386	135	93,361	109	1,773,160	139
全 四十二 年度	109,732	119	2,070,539	134	92,967	108	1,785,679	140
全 四十三 年度	119,433	130	2,117,453	137	106,803	125	1,840,696	145
全 四十四 年度	123,845	135	2,220,367	154	112,136	132	2,022,667	162
大 正 元 年 度	117,906	129	2,132,367	147	102,112	119	1,922,633	153
全 二 年 度	123,657	136	2,146,944	149	108,432	128	1,940,494	145
全 三 年 度	123,660	130	2,064,624	142	107,181	126	1,872,390	148
全 四 年 度	122,367	134	2,012,677	136	106,050	124	1,804,029	139
全 五 年 度	115,851	126	2,332,257	151	103,862	121	1,911,783	142

諸稅負擔 大正五年度國稅總額ハ貳百六拾萬五百壹圓ニシテ内直接國稅ニ

屬スルモノ百參拾四萬五千百九拾六圓トス之レヲ前年度ニ比較スレハ總額ニ於テ拾六萬六千四拾八圓ヲ直接國稅ニ於テ參千六百五拾六圓ヲ增加セリ大正五年度縣稅總額ハ九拾壹萬壹千六百拾八圓ニシテ之レヲ前年度ニ比較スレハ七萬八千七百拾圓ヲ増シ又市町村稅額ハ百四拾參萬貳千六百六拾壹圓ニシテ九萬六千八百五拾六圓ヲ増加セリ今既往十ヶ年間ノ稅額ヲ比較スレハ次表ノ如シ

諸 稅 負 擔 累 年 比 較

年 次	總 額				現住一戶當負擔額			
	直接國稅	縣 稅	市町村稅	計	直 接 國 稅	縣 稅	市 町 村 稅	計
明治四十年 度	1,491,984	631,592	906,764	3,030,340	16.04	6.79	9.75	32.58
全 四十一 年度	1,558,587	717,761	1,141,457	3,417,805	16.79	7.73	12.29	36.81
全 四十二 年度	1,574,021	691,489	1,170,888	3,436,398	16.86	7.41	12.54	36.81
全 四十三 年度	1,502,360	716,456	1,216,665	3,435,481	15.97	7.62	12.93	36.52
全 四十四 年度	1,394,866	933,870	1,302,001	3,630,737	14.59	9.76	13.62	37.97
大 正 元 年 度	1,441,686	889,297	1,355,141	3,686,124	14.73	9.09	13.85	37.67
全 二 年 度	1,446,105	868,217	1,378,287	3,692,609	14.37	8.63	13.69	36.69
全 三 年 度	1,431,607	763,903	1,341,409	3,526,919	13.74	7.33	12.88	33.95
全 四 年 度	1,341,540	832,908	1,335,805	3,510,253	12.67	7.86	12.61	33.14
全 五 年 度	1,345,198	911,618	1,432,661	3,989,375	12.72	8.52	13.54	34.88
年 次	現 住 一 人 當 負 擔 額				指 數			
	直 接 國 稅	縣 稅	市 町 村 稅	計	直 接 國 稅	縣 稅	市 町 村 稅	計
明治四十年 度	2.65	1.12	1.61	5.38	100	100	100	100
全 四十一 年度	2.62	1.26	2.01	5.89	99	114	138	111
全 四十二 年度	2.72	1.19	2.02	5.93	103	107	139	111
全 四十三 年度	2.56	1.23	2.08	5.87	97	111	143	110
全 四十四 年度	2.37	1.58	2.21	5.16	89	147	152	116
大 正 元 年 度	2.44	1.51	2.30	6.25	92	140	159	118
全 二 年 度	2.42	1.42	2.31	6.15	91	130	159	116
全 三 年 度	2.37	1.27	2.22	5.86	89	115	153	110
全 四 年 度	2.21	1.37	2.20	5.78	83	125	152	108
全 五 年 度	2.19	1.49	2.33	6.01	83	133	152	122

重要統計平均數概覽

種 別	實 數		平 均 數		
	全 國	本 縣	全 國	本 縣	
面 積	24,989.57 <sup>方里</sup>	256.30 <sup>方里</sup>	一市町村ニ付 2.03 <sup>方里</sup>	1.65 <sup>方里</sup>	
民有有租地	15,085,807 <sup>町</sup>	185,895 <sup>町</sup>	{ 一市町村ニ付 1,227.3 <sup>町</sup>	1,199.3 <sup>町</sup>	
			{ 戶數一戶ニ付 1.49	1.76	
			{ 一市町村ニ付 156,001 <sup>町</sup>	146,217 <sup>町</sup>	
地 價	1,917,569,701 <sup>円</sup>	22,663,686 <sup>円</sup>	{ 段別一町歩ニ付 127	122	
			{ 面積一方里ニ付 2,289 <sup>人</sup>	2,394 <sup>人</sup>	
現 住	57,199,277 <sup>人</sup>	513,604 <sup>人</sup>	{ 戶數一戶ニ付 5.66 <sup>人</sup>	5.80 <sup>人</sup>	
			{ 人口百人ニ付 15.84	17.31	
學 齡 兒 童	9,061,921 <sup>人</sup>	106,192 <sup>人</sup>	人口百人ニ付 15.84	17.31	
就 學 兒 童	7,613,367	90,769	就學始期既達者百中 就學 98.47	99.47	
不 就 學 兒 童	118,571	485	不 就 學 1.53	0.53	
小 學 校 校 員	25,578 <sup>校</sup>	388 <sup>校</sup>	一市町村ニ付 2.08 <sup>校</sup>	2.50 <sup>校</sup>	
小 學 校 教 員	162,992 <sup>人</sup>	1,736 <sup>人</sup>	一學校ニ付教員 6.20 <sup>人</sup>	4.50 <sup>人</sup>	
小 學 校 兒 童	7,454,652	88,895	一學校ニ付 291.4 <sup>人</sup>	229.1 <sup>人</sup>	
市 町 村 公 學 費	61,032,431 <sup>円</sup>	891,354 <sup>円</sup>	{ 一教員ニ付 45.7	51.2	
			{ 一學校ニ付 2,386 <sup>円</sup>	2,297 <sup>円</sup>	
神 社 (境外無格社ヲ除ク)	49,404 <sup>社</sup>	1,534 <sup>社</sup>	一市町村ニ付 4.02 <sup>社</sup>	9.90 <sup>社</sup>	
寺 院 (境外傳堂ヲ除ク)	71,653 <sup>寺</sup>	1,819 <sup>寺</sup>	一市町村ニ付 5.83 <sup>寺</sup>	11.70 <sup>寺</sup>	
醫 師	43,847 <sup>人</sup>	384 <sup>人</sup>	人口一萬人ニ付 7.67 <sup>人</sup>	6.26 <sup>人</sup>	
刑法其他諸犯則人員	755,083	10,667	一市町村ニ付 61.43	68.82	
府 縣 歲 出 額	102,255,691 <sup>円</sup>	904,377 <sup>円</sup>	{ 人口千人ニ付 13.20	17.38	
			{ 現住戶數一戶ニ付 10.12 <sup>円</sup>	8.55 <sup>円</sup>	
郡 歲 出 額	10,343,402	103,862	一府縣ニ付 2,175,653 <sup>円</sup>	904,377 <sup>円</sup>	
町 村 歲 出 額	124,852,569	1,690,903	{ 一郡ニ付 16,263	10,386	
			{ 一町村ニ付 10,219 <sup>円</sup>	11,052 <sup>円</sup>	
市 歲 出 額	82,981,512	220,880	{ 戶數一戶ニ付 12.35 <sup>円</sup>	2.25 <sup>円</sup>	
			{ 一市ニ付 1,121,372 <sup>円</sup>	220,880 <sup>円</sup>	
町 村 基 本 財 產 額	124,883,368	1,299,917	{ 戶數一戶ニ付 42.92 <sup>円</sup>	27.95 <sup>円</sup>	
			{ 一町村ニ付 10,229 <sup>円</sup>	8,440 <sup>円</sup>	
負 擔	136,898,263	1,345,196	{ 國 稅 2.39 <sup>円</sup>	2.19 <sup>円</sup>	
			人口一萬人ニ付	{ 府縣稅 1.16	1.49
				{ 市町村稅 1.91	2.33
郵 便 物	1,862,687,000	20,950,083	{ 人口一萬人ニ付 32.56	34.14	
			{ 配達數 33.01	29.46	
	1,888,002,000	18,074,916	{ 引受數 33.01	29.46	

本表中 實數ハ大正五年ノ數ニ依ルコトヲ得サルモノハ概テ大正四年ノ數ニ依レリ但曩ニ發刊セシ縣勢一斑又ハ縣勢要覽ニ記載セシモノト符合セサルモノアルハ前回ニハ大正四年ノ材料ニ依リタルモノヲ今回ハ更ニ大正五年其他最近ノ分ニ改メ記載セシモノ等アルニ由ル